

インフラ構造物の先端モニタリング技術講習会

—光ファイバセンシングと電磁波レーダによる内部損傷評価—

主催：土木学会関東支部群馬会
共催：地盤工学会関東支部群馬県グループ

インフラの維持管理において、「見えない損傷」をいかに効率よく把握するかが大きな課題となっています。本講習会では、既設の光ファイバ(ダークファイバ)を活用した分布型音響センシング(DAS)による道路陥没モニタリング技術や、電磁波レーダを搭載した車両を道路上で走行させることで、鉄筋コンクリート床版・コンクリート舗装内部に生じる鉄筋腐食やひび割れ、さらには地下空洞など、目視では確認が難しい損傷を非破壊で検知する最新技術を紹介します。例えば、道路下の異常を広範囲かつ効率的に把握できる道路陥没モニタリングや、供用中の道路を大きく規制することなく内部損傷を把握できる技術など、インフラ維持管理の高度化・省力化に向けた実践的知見を学べる内容となっています。

2026年6月4日(木) 13:30～16:05
群馬建設会館ホール(前橋市元総社町 2—5—3)

講習内容

13:30～14:15

人口減少時代のインフラ維持管理と既設光ファイバを活用したモニタリングの可能性
佐々木理(株)NTT-ME)

14:15～15:00

光ファイバセンシングによるインフラモニタリング 今井道男(鹿島建設(株))

15:15～16:05

電磁波レーダによる鉄筋コンクリート内部ひび割れ検出技術 山田桂(技建開発(株))

本講習会は CPD 2.4 単位の認定を受けています。
※単位は有効受講時間に基づき付与します。

参加費

- ・ 会員(土木学会関東支部群馬会あるいは地盤工学会): 無料
- ・ 非会員: 1,000 円
- ・ 当日入会者: 無料

※当日入会された方は会員扱いとし、参加費は無料とします。